第 1版（2026 年 6 月 23 日作成）

救命救急センターに搬送された患者さんへ

本院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学総合医療センター研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》　自殺企図により救急搬送された過量服薬患者における、精神科通院歴別の臨床的特徴に関する後方視的検討

《研究機関名・研究責任者》　関西医科大学総合医療センター 精神神経科 病院助教 藤田佳奈

《研究の目的》本研究は、自殺企図により救急搬送された患者さんを対象として、過量服薬（Over Dose:OD）が企図手段全体のどの程度の割合を占めるかを調査します。同時に、患者背景による OD に用いた薬剤の違いや、臨床経過について検討することを目的としています。本研究により、OD に関連する背景や因子を明らかにし、今後の自殺予防や精神科救急医療の改善に役立てることを目指しています。

《研究期間》研究機関の長の承認日から 2027 年 3 月 31 日まで

《研究の方法》

●対象となる患者さん

2024 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに、当院救命救急センターへ自殺企図により搬送された患者を対象とする。

●研究に用いる情報の種類

情報：年齢、性別、精神科通院歴、精神科診断名、搬送前の自殺企図歴、過量服薬に使用された薬剤内容、向精神薬の種類、市販薬使用の有無、家庭用化学製品使用の有無、アルコール併用の有無、入院期間、ICU 管理の有無、転帰、精神科介入内容

《情報の利用又は提供を開始する予定日》承認日から

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》
この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。
＊上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》
関西医科大学総合医療センター 精神神経科 病院助教 藤田　佳奈
大阪府守口市文園町 10-15
電話 06-6992-1001（代表） FAX 06-6992-4846